

異世界で 第三王子に

ep. 1

計画的に

取女

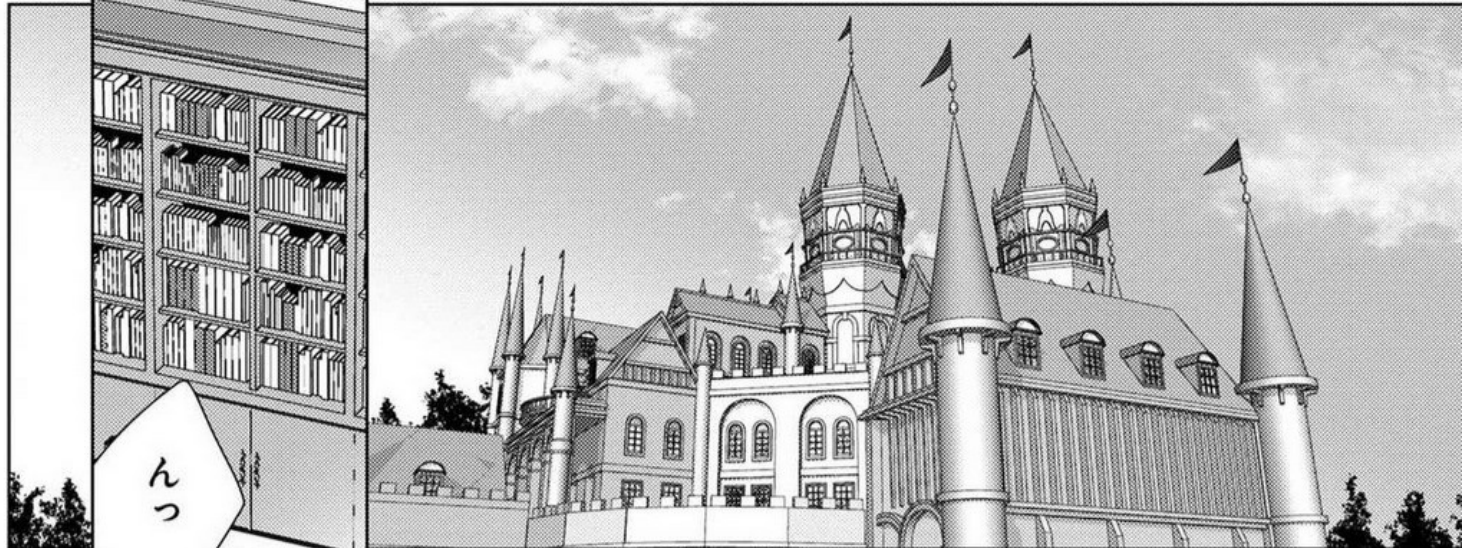
られました

マクガイア王国の異世界転移

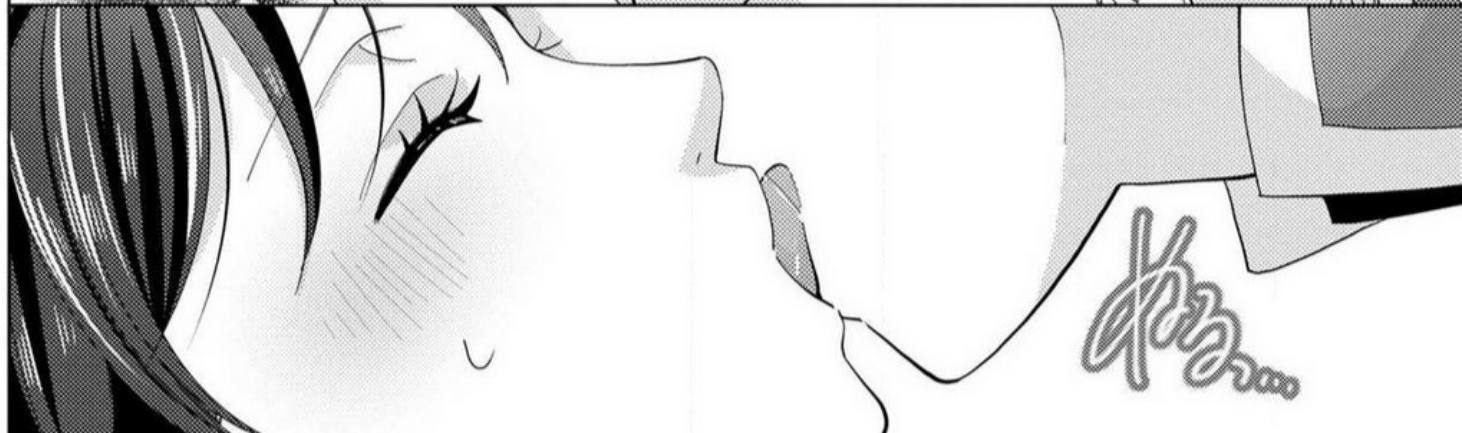
志波ひより
Hiyori Shiba
原作 / 直江あき
Aki Naegi







んっ
んん…



あ

どうして私

こんなことになっ
たんだっけ…!?

もっと声

出させて
あげるよ

んんっ

俺のキス
気に入ったんだね

んっ



真まこと
今度くる資料の
リストは？

真ほどこの
仕事を把握
してる人は
いないよ

本当に
仕事熱心だ



結婚も
せず
この国に
残るくらい
だもんな
あ、は、は、

できています
あとで机の上に
置いておきますね



は、は

...

ここは
マクガイア
王国



『異世界』と
呼ばれるところだ

私が住んでいた
日本からすると

これから他国との
交流会なので

失礼しますね

いってらっしゃい

またねー

この国では
異世界からの
血を交ぜる
ことで

魔法を使える
血筋を
守っている

さっし

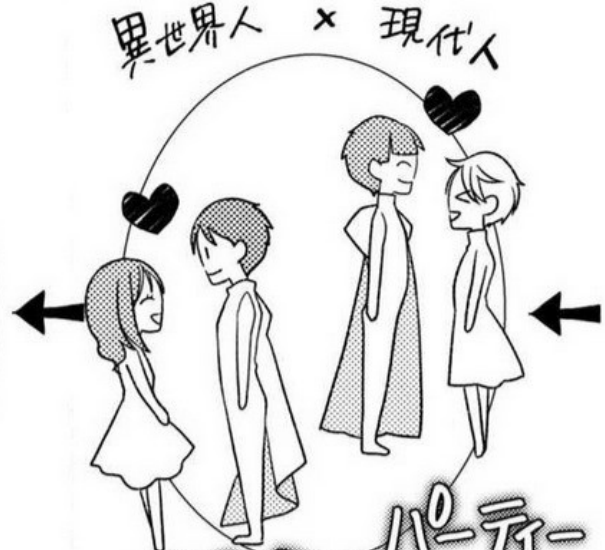
初心者でも安心

How to 異世界転移生活

in マグカリア



結婚!



異世界人 × 現代人

お見合いパーティー



Welcome!

現代から転移

でも私の
場合は……

これが
一般的な
転移者の
生活



え

転移者
だろ?

はいっ
その事業
私もお手伝い
できると
思います





それは
助かるな…

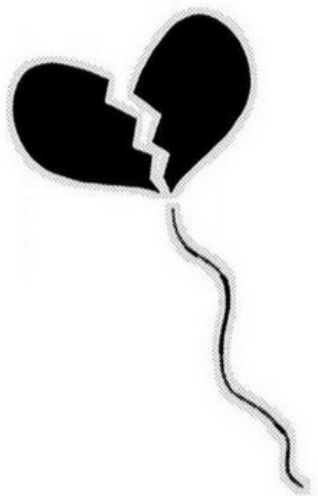
人手が欲しいと
思っていたし

日本では
マネジメント業務を
担ってましたので

私もお手伝い
できたら
嬉しいです

—…と

仕事にのめり込み
すぎて恋の相手を
選びそこねてしまった



君の名前は？

こうさか
上坂真です

わきあわい

真か

よろしくねっ

きりたん

カップリング
不成立者は基本
現代へ戻るのだが

待ちなさい
君の帰還は
中止だ

現在は
独身のまま

文官として
就職している

きゃ

え

君はこの世界に
想いがあり
すぎる…

え

でも
後悔はない

その後もパーティーに
参加したけど
みんなお友達で
終わってしまった

わかる

恋んって
いうより
友んぢよね

国を挙げての
新興事業

こんなに
ワクワクする
ことってないもの

いいタイミングで
転移したよね
ラッキー
だったな

あ
ここだ

コンコン

失礼します

読んでおけって
言われた
資料ってこれかな

ん…?

Handwritten text on a scroll, including the characters "アキラ" (Akira).



これは…
どういうこと？

でも
第三王子が
こんな資料
作れるわけない
だって第三王子って
人柄の良さで
優秀な部下が集まった
おバカな王子って
噂されてるし…

間違いない…!!
文官になってすぐ
王族の筆跡は
覚えさせられたし



つまり…
これって

今日の交流会…
元々は王太子殿下が
参加する予定
だったけど急遽
第三王子に代わった
のよね…
でもこの資料は
一日二日で
用意されたものじゃない
前々から国政を見て
考え抜かれてる



最初から
第三王子が
来るつもり
だった…!!?

あーあ
間に合わなかったか

読んじやったん
だね

第三王子
ライト殿下……!!



は
初めまして
第三王子殿下

財務関連の
部署に在席
しております

上坂真と
申します

机上の資料を
読んでおくようにと
申しつかつて
参りました

ああ

読んでしまった
ものは仕方ない

学者殿は遅れることに
なったんだ連絡が
行き違ったようだね

え

その資料
なにか気になる
ところはあったか？

思った
ところを
言ってよ

え…

忌憚のない
意見を頼むよ

意見…と
申しますか
質問をしても？

どうぞ

次はどんな方を
転移させる予定
ですか？

まだ決めてないよ
貴女には希望が
あるの？

敬語も
なしで

それは
ちよつと
…！

はい

現場の法律に
強い人がほしいです

税務を立ち上げるのに
法整備に穴を
あけたくないので

…

なるほど

今の仕事
好きなんだね

宝石のような
黒い瞳……

この世界の
美形ってすごい

光ってる気が
する……

役身

役身



そうだった

くす



貴女は結婚を
しないで仕事を
選んだ人だったね

いいね



はい...
なにせ
のめり込み過ぎて
帰途の儀式で弾かれ
ちやいましたから





僕と
婚約しようか



異世界に
きて初めて
言語が
理解できなかった



婚約しようか
僕と



あの…
聞き間違えた
ようですので

申し訳
ありませんが…
もう一度…



は？
何いってるの？

不敬。



あ

君は俺の理想だ

いやいや…今の会話だけで理想とか

意味わかんないですし……

って言葉はよぎったけどつい…口から出ちゃった

君はさっき聞いたでしょう

どんな人を次は呼ぶのかって



?

はい

だから俺の妻になってよ

殿下はあまり実務に携わらないと伺っていたので意外でした



日本語で
書かれていたのも
殿下ですよね

私…
懐かしくて
……

それ全部
最高機密
なんだ

私も見込まれて
呼ばれていると
わかって
嬉しかったです

あ

あと



親と兄弟しか
しらない

秘密を
知られたから
には——…

ね

俺は新しい
ものを作るのが
好きなんだ

それにはそれを
支える
良き理解者や
支援者が
必要だね

それが妻なら
最高でしょう？

妻には
異世界人と
決めていたし

ごめんね？
でも俺の直感は
はずれないから
大丈夫

愛し合おうね？

バカで誠実で
愛されキャラ…？
いやいやいや…

とんでもない
腹黒なのでは…!?

上坂さんは
付き合ってる人
いないって
聞いてるけど

俺のこと
嫌い？

えっ

そうですね…

じいー

黒い瞳に
金の髪

整った顔立ちに
スタイルのいい
長身……

瞳に母国の
面影がある
ので……

好きな
ほうです…

正直者

見た目は好み
ってこと？
それはよかった
じゃあどんな
男が理想なの？

私より
頭のいい人
でしょうか

仕事ができる
人とか…

特許権利課を
作ったのも

民間と国の
研究機関を
繋いだのも
俺なんだ

じゃあ
お互い理想に
ぴったりじゃない！

え

あの…

どの辺が

不敬。

資料を見る限り
噂よりずっと
できる人かも
しれないけど…

君がいる
税務担当部署
作ったの

俺

どれも近年
新設された
革新的な事業…！

今の全部
ですか…？

そんな
話…！

うん誰も
知らないはずだよ

これも
最高機密だから
あまた
増えちゃったね

俺かなり
仕事できると
思うよ

そんな！
私黙って
ます

誰にも
言いません



うん
信じて
あげたいよ

でもリスク
管理は大切だ

俺は何かを
頑張る人を
尊敬する

仕事は
できるほう
だけど…


仕事に打ち込む
君は素晴らしいと
思うよ

恋愛は
ポンコツだから…

ちょっと強気に
リードされると


弱いんだよ〜っ





しかもそれが
俺の手掛けた
仕事で

それを発展させて
くれてるなんて
好きにならない
理由はないよね



君がこちらに
来たとき

ちようど仕事で
余裕がなくてね
君との出会いは
断念していた

でも君が誰とも
結婚せずさらに
こちらの世界に
残ってくれていて

こうして偶然にも
ふたりきりになれた…

今日の出会いのためとしか
思えない

こんなの…

王子様
じゃん…っ

君の仕事上の
根回しやプレゼンは
素晴らしいと
聞いている

今日も俺が
話を聞きたくて
機会を用意
した

やっぴー!!

そこまで
わかつちやったんだ

察しもいいね

ますます
気に入った

しま……っ

あ…

んんん





んっ



おさえられて...
逃げられない

ん
ん

かわいいね

っ

頭が
ぼうつと
してさへ...



キスって
こんなに気持ち
よかったっけ...?

苦しいのに
やめられなくて

あ

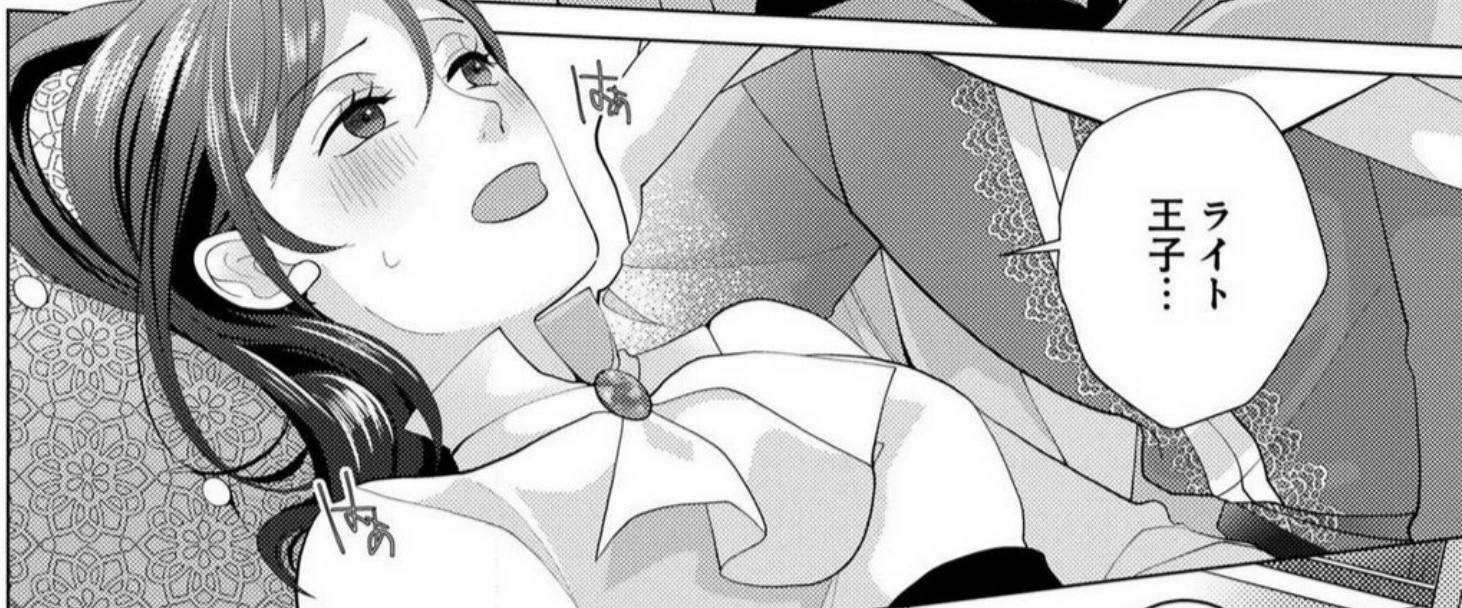
あ

あ



可愛い声
でてきたね

キス
好きなんだ？



ライト
王子…



もっと
しようか

異世界で 第三王子に

ep.
2

計画的に

取 女

られました

志波ひより

Hiyori Shiba

原作 / 直江あき

Aki Naegi

マクガイア王国の異世界転移





マクガイア王国
第三王子
ライト・マクガイア

彼について
知っている
ことといえば

のんき

もとい
穏やか

顔立ちは優しげで
スタイルもよく

人柄に惹かれた
若者が彼を支える
ために集まっている



家族仲も
良好である

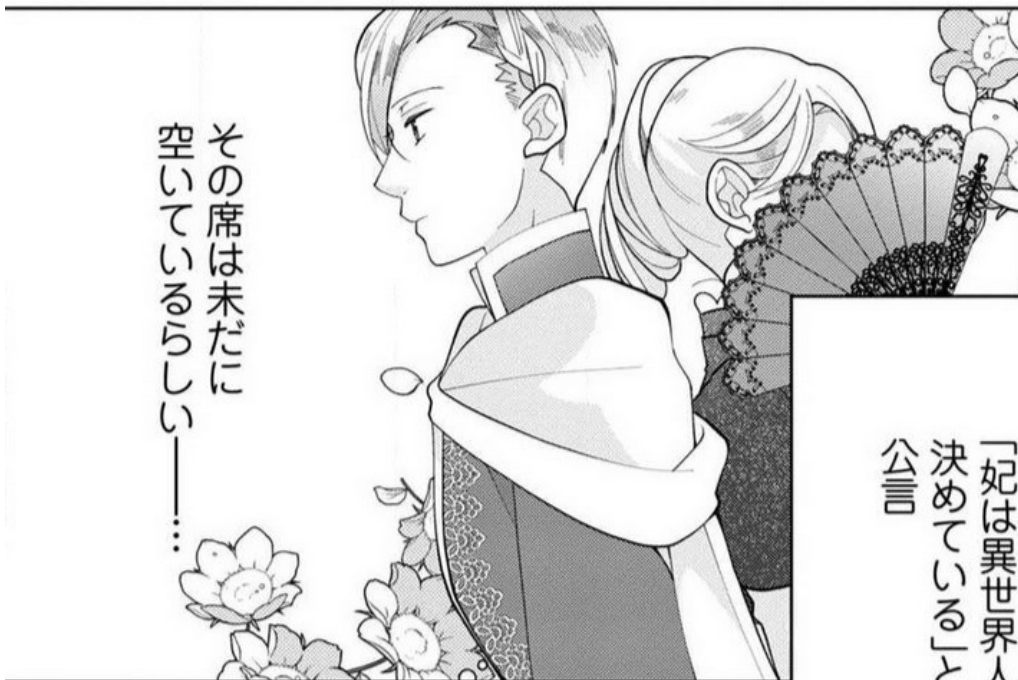


王太子となった
兄を支えることに
尽力していて
……



婚約者問題

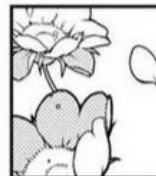
王子にひとつ
問題があると
するならばそれは



その席は未だに
空いているらしい……

小さい頃に
異世界人と
交流したことが
きっかけで

「妃は異世界人と
決めている」と
公言



……そんな彼に

いま私は……

んっ

迫られてるん
だけど……!?

んっ

んっ



手が…

!

はっ

あっ

抵抗
できない

あっ

そんなに
甘い声出すんだ？

っ



そっか...

きゅん

きゅん

きゅん

キス

はあ

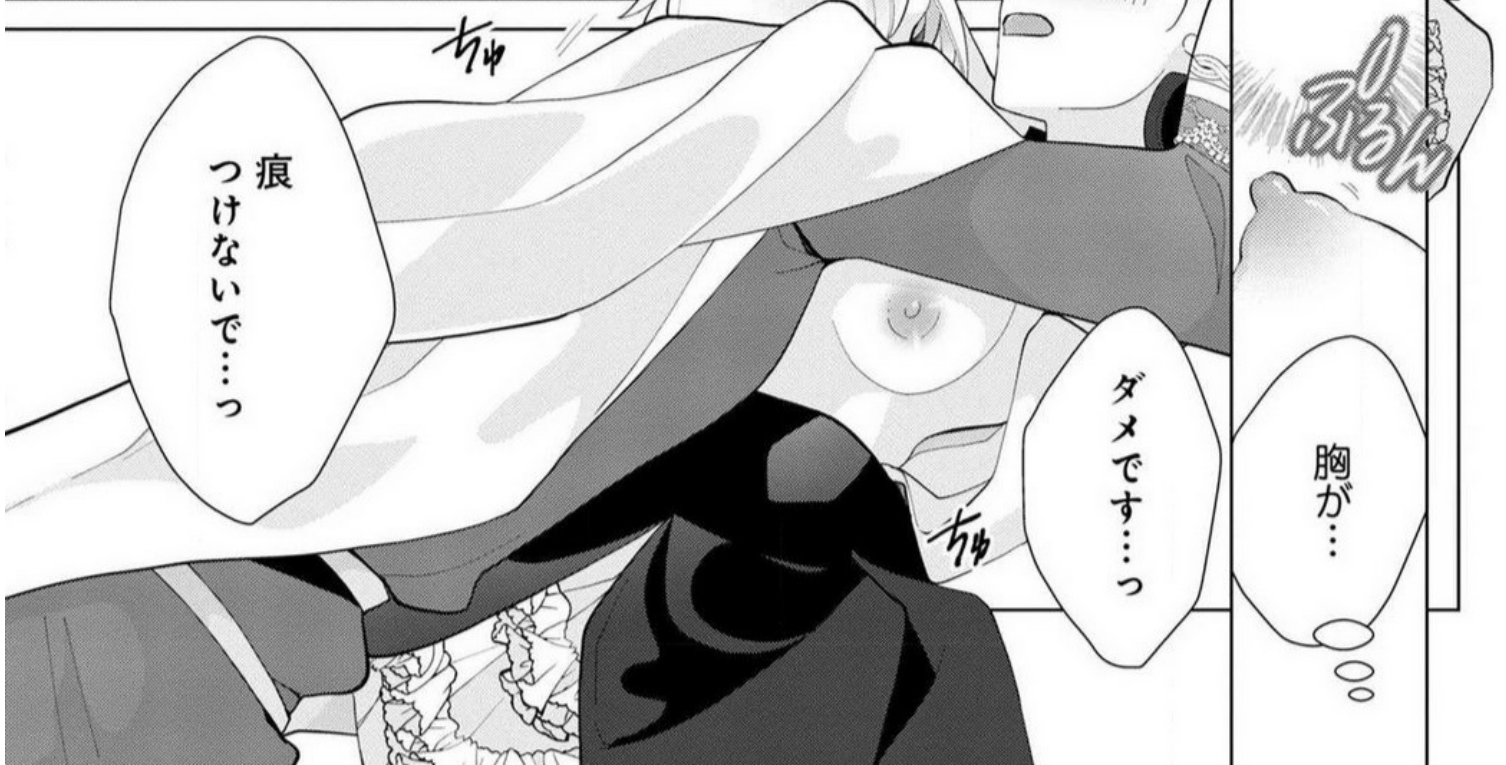
はあ

あっ

キスしながら
そんなこと
されると...

体が
火照って...
きちやう...

はあ...



なに？

上坂さん
痕つけられたら
誰かに怒られるの？

妬けるな

声が…
冷たい…

俺独占欲強いから
恋人と別れさせちゃう
けど許して？

あっ

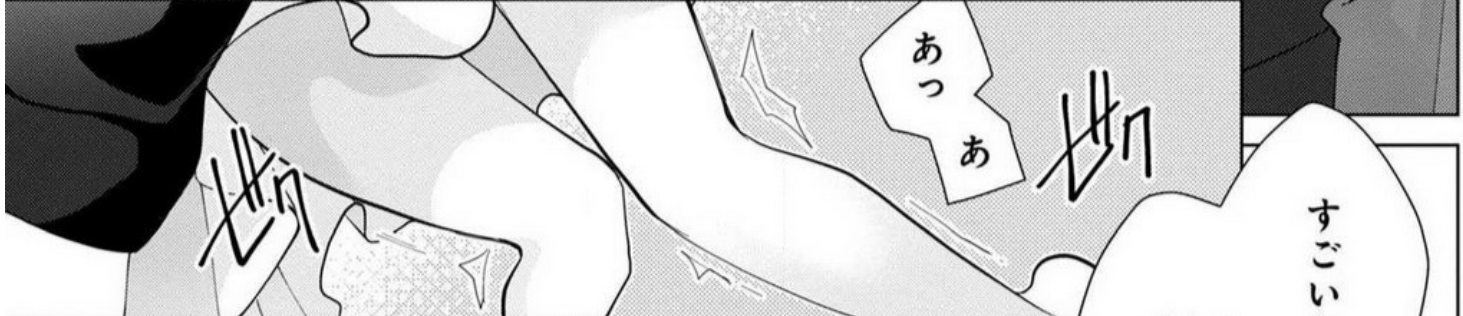
恋人はいないし
怒ってるのは
殿下だし…

一体なんなの
—…!?



あっ
や

だめっ



あっ
あ

あ



すごいな

そんなに腰
揺らして

期待してる？

!!



質問の度に
こんなコトされてたら
まるで拷問よ

温厚な人って
噂じゃなかったの!?

じゃあ俺に
キスされて

気持ちよく
なっちゃった?

んあっ

貴女は
有能だけど

素直だね

そんな反応
見せられると
好きになるし

煽られるよ

あ

力抜けちゃった?
よかったまだ
俺の腕が落ちて
なくて

王族は王家の
存続と繁栄のために

夜のことも
しっかり
学んだ

まだまだ
これからだよ

人が来るまで
時間があるから

しっかり俺に
墜ちようね

ふんふん...

犯されそうに
なってるのに...

ときめい
ちやっってるのよー!!

一目見たときから
彼女に惹かれる
予感があった

彼女が
上坂真^{まこと}…

よく働くな

ふわ

ふわ

ふわ

いい人材を
転移できたな

うん
うん
♡

元々日本人は
勤勉な者が
多い印象だが



きれいな黒髪も
好ましいし……

ここが
問題だったか

聞きかじった
異世界のシステムを
模倣しただけだったのは
よくなかったな

いい
報告書だ

なるほど

担当は
……

ああ……





以上のように報告いたします。
担当 上坂真

彼女の存在は
俺をわくわく
させてくれた

好ましい

近づいて
みたい

彼女を



のああ

だめ…

俺のものに
したい

ほらここ
ひくついでる

きれいな
ピンク色だ

俺の指は
どう？

気持ちいいって
言っごらん



いつの間にか全部
脱がされて

やっ
いえない...っ

殿下の肌が
直接...

まだ頑張るの?
頑張りすぎだよ

やっ やっ やっ



え

恥ずかしくて
気持ちいいなんて
言えないよ...

そこも可愛い
けど...
仕方ないな

なめ…っ!?

わろ…

ひあ

わろ

真のここ

舐めて
あげるから
見てて?

えっ

やだ
そんなトコ

いいから…
見てなよ

うそ…
うそでしょ…!?

ほら
体は嘘が
つけないな

蜜が
溢れてきた

おかしく…っ

おかしく
なっちゃう



指と舌で...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...

私の中を...

あ...
あ...

ね

そろそろさ
真の可愛い声に
耐えるのも限界

あの格好いい
顔が...





kyp

俺のものに
なつてほしい

真

俺は貴女が欲しい
俺の腕の中で啼いて？

っ

私が…断れない
…って思ってます
…よね？

うん

短い間で
見た限り

結構
俺のこと
好きだよな？

ナカに入るのを
許してほしい

……

浮気は嫌です

生涯 貴女だけを
愛すると誓うよ

約束ですよ

針千本
飲むと誓おう

その代わり



生涯
俺にたくさん
抱かれてくれ

異世界で 第三王子に

ep. 3

計画的に

取女

られました

志波ひより

Hiyori Shiba

原作 / 直江あき

Aki Naegi

マクガイア王国の異世界転移





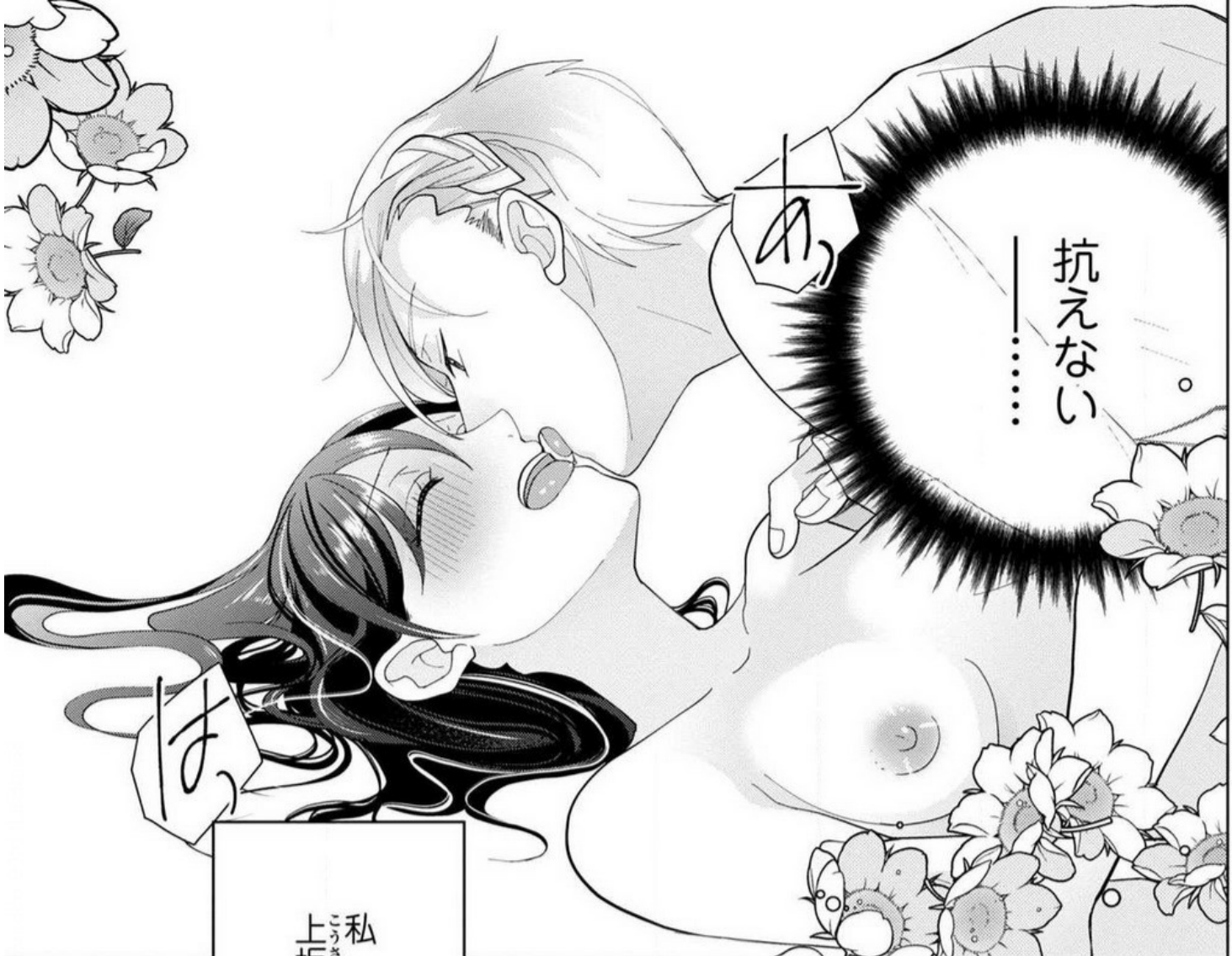
頭の中に…
モヤがかかる

夢の中にいる
みたい……

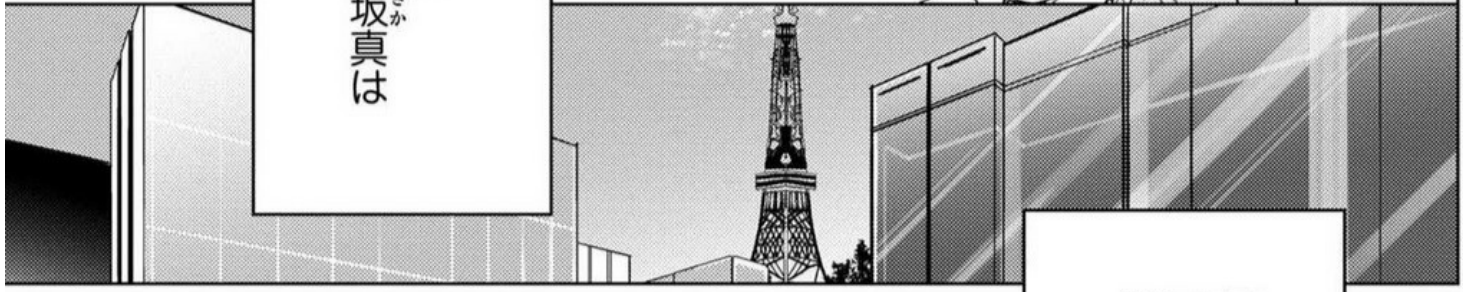
真 まこと

私の名前を呼ぶ
切実な声に……

は



抗えない
……



私
上坂真は

日本からここ
マクガイア王国
に異世界転移



呼ばれた理由は
この世界の男性と
結婚して
血筋を残すため

次の資料
もってきます

でも仕事優先で
スルーして
しまっていた……
……のだけど

マクガイア王国
第三王子

ライト殿下に
その仕事ぶりを
認められ

婚約しようか
僕と

突然の
プロポーズ

カウロ

温厚で
人柄の良いと
評判だった

王子が
|…

実は

ほんのり
腹黒くて…

こんな強引
だったなんて…

真

俺独占欲強いから
恋人と別れさせちゃうけど
許して？

…挿れるよ



奥...
まで...っ

ん

ん

ん

ん

ん

ん



殿下のが
入ってくる...!!

ん

ん



大きくて

苦し...っ

エッチなんて
久しぶり
だから...っ!!

ん

ん

っ



……きゅ……っ

はぁ

真

もしかして
乙女だった？

め

おと……め？

処女じゃ
……ない

けどっ

ん



痛い……

苦し……

あや

んっ

あや

っ



知

真のその
泣きそうな表情も

煽る材料に
しかならないな

…少し
話をしようか



…俺は真の
能力に惚れたけど

元々
日本人が好みだ

真っ直ぐな黒髪も
凜とした黒目も

礼儀正しさや
日本語の美しさも
…なんだろうな

俺の日本語の
発音はかなり
うまいだろう？

貴女の
知前とか

…そう
ですね



俺が幼少時に
転移してきた日本人に

可愛がってもらって
日本語もそこで覚えた

そんなに…!?

あ

はは

かれこれ
二十年は勉強
している

可愛い…

その人の知恵と
説得のおかげで
王位継承争いに
巻き込まれずに
済んだんだ

やりたいことが
いくつもあって
王太子にはなりたく
なかったんだよね

バカのフリを
してるのも
そういう理由

あの人には
すごく
感謝してる



！

そうだったん
ですね…
初恋ですか？

ふっ

親戚ですか

うーん二十は
年上だし

…親戚？

？

笑ったな
真

やっと

えっ

/// ぢっ

あ

あ

痛く
…ない

むしろ…
気持ち
…いい…

王子…

真

王子じゃ
なくて
ライトって
呼べる？

あ

ライ
…ト…ツ

うん

俺に集中して

いっぱい
イこうな





ライ……ト

あ

め

め



気持ち
いい……っ

イツちやう



いいよ

め

真のこと
もっと好きにさせて

…俺のこと
好きになって

…なんて表情で
言うの…

イけよ
真の可愛い顔
もっと見せて

私……きつと
ライトを
好きになる

俺もそろそろ
イキそう……
なんだ

辛かったら
しがみついてて
いいから……

好きだ……

真

一緒に
イこう

真っ

あ

もっと
言って

あっ

好きだ



おち...

あ

あ
あ

あーっ...

.....

あ

ナカが
ライトので
あつくて...
...ふわふわ
する...



おちん
ん?



好きだ...

あ
あ



…本当？

たき
たりほ…？

まだ抱き足りないし
これからも
飲むから大丈夫



ナカ…!?
ライトなに…
なんで中に
出したの!?

コ
コ
コ



あー平気だよ
避妊薬
飲んでるから

殿下
失礼します



そろそろ
上坂嬢が
到着されます

学者役の
演者も打ち合わせ
済みで…

ひとが…っ



おや

悪い
それ以上
入るな

取り込み中
だ

...

上坂嬢の
到着を遅らせ
ますか...?

大丈夫



スケジューリング
よろしくな

はい!?

というわけで
演者はいらなく
なったし

上坂さんは
俺の妃に
なるから

上坂嬢が
相手だからね

え

ちよっ

え

それから
ライトの手のひらで
踊るように

「婚約者」になり
妃教育が始まった

概ね順調……
ひとつづつ気がかりなのは

毎日のように
抱き潰されている
せいで



朝…?
もう…
…

え



仕事が進まないこと…!!

カカッ

ん?

おはよう…
ございます

休んでばっかりで
迷惑になってない
かしら…

腰いた…



ライト…
仕事か

やだ
まだ抱き足り
ない…

ん

おはよー
上坂く

君のおかげで
昨日は俺たちも
ゆーっくり休めたよ

え

殿下にはまた
ゆっくりして
もらって

え

感謝

やっと俺も
妻との時間が
とれたんだ

えっと
それは…
よかったです

ははは

ライトが次々に
事業を興すことで

側近たちは
多忙を極めて
いたらしい

うん
この計画は

このままで
良さそうだ…

そうだね

私たちは
変わらず

お互いに
仕事を
支え合っている

あとは
税率を…

真

私に合わせてくれて
ありがとう

ライト

きれいだ…

黒い髪に
白いドレスが
映えるな…

今すぐ
脱がして
しまいたい

それはダメ

なら

終わってからに
しよう

もう…また
仕事できなく
なっちゃう

大丈夫

休めばいい
からね

マクガイア王国歴
二五八年

第三王子
ライト殿下が
結婚

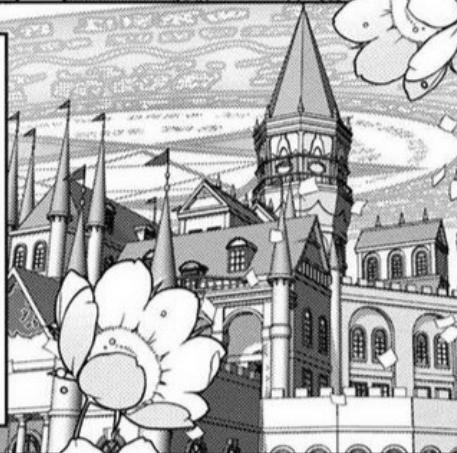
妃の母国の様式で
挙げられた式は

各王国でも
真似られる程に
流行

妃との時間を
重要視した王子が
勤務形態を見直し

週休二日という
制度が国内に
広まった

これにより国は
さらに発展し
栄えたという



END